

会議・打合せ等記録

市長	副市長	教育長	次長	課長等	補佐	係長等	担当

報告日：令和3年12月20日

名称	鹿沼市スポーツ推進審議会（第2回）
日時	令和3年12月17日（金） 19時00分～19時40分
場所	市民情報センター 子育て情報室A
出席者	委員：江田光好会長、阿部尚副会長、枝村重利委員、小川修一委員 畑芳春委員、岸野紘之委員、鈴木明美委員 （欠席者3名：斎藤美智雄委員、倉野和樹委員、荒川一志委員） 事務局：高橋教育次長、スポーツ振興課（谷津課長、柏熊スポーツ振興係長、石川主査、阿部主事、大貫スポーツ施設係長、柴田主事） かぬま文化・スポーツ振興財団（田村事業課長、加藤スポーツ事業係長）
内容及び結果等	<p>1 開会 19:00（谷津課長）</p> <p>2 あいさつ 江田会長</p> <p>3 議事（進行：江田会長）</p> <p>（1）第2期鹿沼市スポーツ推進計画（案）について</p> <p>柏熊：①平成27年度に策定された「かぬまスポーツ振興プラン」が本年度最終年度を迎える。次期計画を今年度中に策定予定。</p> <p>②今年8月に、「鹿沼市スポーツ推進計画の策定方針」について、委員の皆様よりいただいた意見を参考に、素案を作成した。この素案について12月24日から1か月間、パブリックコメントの募集を実施する。</p> <p>第1章 「計画の概要」</p> <p>①策定の趣旨や計画の位置づけ、計画の期間、本計画におけるスポーツの定義を記載。スポーツの定義については、国・県と合わせた定義とした。</p> <p>第2章 「現状と課題」</p> <p>①幼児期に多様な動きを身に着ける環境の必要性とともに、幼児期に遊びを通して体を動かす機会が減少していること、児童の体力低下が懸念されていること。</p> <p>②成人については、90%近くが運動不足を感じている。女性のスポーツ実施率は低い状況である。またスポーツを行わない人が40%いること。</p> <p>③高齢者については、スポーツ実施率が64.1%と他の年代よりも比較的高い傾向にあるものの、地域との交流が少なく、筋力や身体能力の低下が懸念される高齢者もいること。</p> <p>④障がい者のある方については、障がいの程度に応じた指導や支援が必要になるものの、障がい者のニーズに適合した環境（指導者、施設等）が整っていないこと。</p>

柏熊：⑤ウィズ・コロナについては、コロナ禍において多くの人が集まったイベントが中止となった。コロナ禍に応じた事業・運営をどのように行っていくかが課題となること。

大貫：⑥スポーツ施設については、建設から30年以上が経過し改修による長寿命化が済んでいない市内スポーツ施設が50%以上に達していること。類似施設の統廃合を視野に、拠点となる施設の改修や適性な管理が求められていること。等が記載されている。

柏熊：第3章 「基本理念」

別紙資料No.1を参照

①「鹿沼市総合計画」及び「鹿沼市教育ビジョン」が上位計画であることから、両計画における位置づけを記載。鹿沼市スポーツ推進計画は両計画におけるスポーツに関する施策を実現するための個別計画となる。

②「第2期鹿沼市スポーツ推進計画」では、市民の誰もが「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツに親しみ、健康で豊かな生活が送れるまちづくりの実現を目指すことを目標とし、基本理念を『誰もがスポーツに親しみ、健康で生きがいを感じる活力あるまちづくり』とした。

③基本目標は「市民の週1日以上スポーツ実施率」を令和3年度の36%から最終年度の令和8年度までに44%にすることとしている。

大貫：④施設については、少子高齢化による運動施設の利用者数減少幅の抑制を図ることとして、主要施設利用率の減少幅を年1.5%以内に抑制することとしている。

柏熊：第4章 「基本施策における取り組み内容」

「基本施策1 市民のスポーツ参画人口の拡大」について

①ライフステージに応じたスポーツ活動として、(1)～(5)と5つの施策があるが、幼児期からの運動習慣の形成が、その後の体力や運動能力の発達、また社会性、創造性等の育成に非常に重要と捉えられていること。

次期総合計画において「やさしさ」が重要視されており、今年開催されたパラリンピックの影響もあり、障がい者スポーツに関心をもつ人が多くなっていること等から

(1) 幼児・児童期における運動遊びやスポーツ活動の推進

(4) 障がい者スポーツの推進

の2点について、特に推進していきたい。

柏熊：②組織人材の育成、スポーツを通じた健康づくりについては、スポーツには多様な関わり方があることを広め、ボランティアや指導者等の人材育成、団体の支援等、組織の基盤強化に努めていく。

また、アンケートにおいて意見の多かった情報発信についても強化し、スポーツを通じた健康づくりにも取り組んでいきたい。

「基本施策2 スポーツによる交流、活力ある地域づくり」

①全国から参加者の集まる「鹿沼さつきマラソン大会」の開催や「平野早矢香杯卓球大会」「ジュニアゴルフ大会」等、スポーツを通じた交流人口の増加を目指し、地域の活性化を図っていく。

②市民のスポーツ意識を醸成するために、スポーツイベントの開催やプロスポーツチーム等の試合招致を行い、スポーツに興味を持つきっかけづくりも行っていく。

大貫：「基本施策3 スポーツができる環境の整備、利活用」

①老朽化した既存施設の更新を単純に「施設を維持」することではなく、その「機能を維持」できるよう、統廃合・複合化等の検討を図り、計画的な改修を進めていく。

江田委員：塩原マラソンだったか、どこかのマラソン大会では、目の見えない人に伴走者がついて参加していた。障がい者のスポーツを普及するのは、すばらしいことだと思う。

阿部委員：項目の構成は良い。計画を推進していくにあたり、具体的にどのような課題を解決していくのか、きめ細かく討論していく必要がある。女性のスポーツ実施率をどのように上げていくのか、例えば台所に立った状態で運動をできないか。また、スポ少では母親が子供の練習状況を見ていることが多い。見ている間に何か運動できないか等、の案を考えれば、実施率が上がるのではないかと

鈴木委員：婦人バレーを行っており、施設のことが気になっている。鹿沼市体育館は暗幕がボロボロである。スポ少の活動も行っているが、子ども達を安全に活動させることが重要。いつ頃、どの施設が改修されるのか等のスケジュールが見えると有難い。

また、現在、池ノ森小を利用している。池ノ森小は先生が好意的で「使ってください」と提供してくれているが、通常は各学校に電話しないと空いているかどうか分からない。HPで確認できれば、もっと手軽に利用できるようになると思う。

スポーツ協会菊沢支部では、ボッチャを広めていきたいと考えているが、障がい者のスポーツに触れる機会がない。鹿沼で開催し、子ども

	<p>達に見せる機会があれば良いと思う。子ども達には、視覚が一番いい。</p> <p>(2) その他について</p> <p>柏熊：今後のスケジュールとして、この後 12 月 24 日～1 月 25 日までの期間でパブリックコメントを実施、その後、教育委員会において承認を経て、3 月に計画の策定を行う予定で進めていく。</p> <p>閉会 19:40 谷津課長</p>			
配布資料	・スポーツ審議会（第 2 回）次第			
	・第 3 章基本理念 資料No.1			
	・第 8 次鹿沼市総合計画、第 2 次鹿沼市教育ビジョン（素案） 資料No.2			
	・鹿沼市スポーツ推進審議会委員・事務局名簿			
	「第 2 期鹿沼市スポーツ推進計画（案）」については、事前送付。			
次回予定	令和 4 年 3 月			
記録者	柏熊			
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第 2 条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)				
公開・非公開の別	公 開	・ 非公開	(公開の場合) 傍聴人数	0 人